

災害時精神科医療対策について

災害時精神科医療対策

1 災害拠点精神科病院について

<災害拠点精神科病院とは>

災害時においても、精神科医療を行うための診療機能やDPAT派遣機能を有するほか、患者の一時的避難に対応できる場所や保護室等を有し、災害時における精神科医療を提供する上での中心的な役割を担う病院

<災害拠点精神科病院の整備状況>

(2025年3月時点)

病院名	住所	指定年月
愛知県精神医療センター	名古屋市千種区徳川山町4-1-7	2020年3月
松崎病院 豊橋こころのケアセンター	豊橋市三本木町字元三本木20-1	2020年3月

2 DPAT（災害派遣精神医療チーム）について

＜DPATとは＞

災害時等に被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム

＜DPAT隊の構成＞

- ◆構成員：精神科医師、看護師、業務調整員
- ◆人数：3～5名

＜DPAT隊の主な役割＞

①病院への支援

被災病院からの患者搬送、被災病院における診療継続のための支援

②地域への支援

避難所での精神疾患を有する被災者への対応 など

③支援者への支援

被災者支援を行う者に対する心のケア支援

2 DPAT（災害派遣精神医療チーム）について

＜愛知DPAT隊登録状況＞（2025年3月時点）

○愛知DPAT隊編成可能隊数：13機関21隊

※主に本県被災時に県内で活動する隊

○愛知DPAT先遣隊編成可能隊数：2機関5隊

※発災から48時間以内に、県内外の被災地において活動する隊

＜愛知DPAT統括者の登録状況＞（2025年3月時点）

DPAT統括者…県内で活動する全てのDPATの指揮・調整等を行う者

○愛知DPAT統括者数：計7名（愛知県精神保健福祉センター所長など）

2 DPAT（災害派遣精神医療チーム）について

愛知DPAT研修

愛知県内の精神科医療機関職員等を対象に愛知県が組織する災害派遣精神医療チーム（愛知DPAT）として活動する人材を養成するための研修を実施しています。

<研修実績>

○2023年度：

2023年12月9日（土）・10日（日）開催

受講者数 21名

○2024年度：

2024年12月21日（土）・22日（日）開催

受講者数 68名

DPAT研修を受けてみませんか？



●DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team)とは？

災害時に被災地域の精神保健医療ニーズの把握、他の保健医療体制との連携、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援などの活動を行うために専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームがDPATです。

<DPAT先遣隊と都道府県DPATについて>

DPAT先遣隊とは、発災から概ね48時間以内に、被災した都道府県において活動できる隊、都道府県DPATは継続して派遣する災害派遣精神医療チームすべての隊を指します。
愛知DPAT研修では後者の都道府県DPATを養成するものであり、愛知県で発災した際に県内で支援が必要な場所に派遣することを想定しています。

●愛知県ではどのようにDPAT隊を養成しているの？

愛知県では愛知DPAT研修（年1回）を開催し、愛知DPAT隊を養成しています。
2024年9月時点での愛知県におけるDPAT隊は12医療機関20隊です。

（2024年1月の能登半島地震では、DPAT先遣隊の派遣終了に伴い、石川県は都道府県DPAT隊を急遽養成して災害時の対応に当たることになりました。災害が起ってから、急遽養成するような事態にならないために、愛知県において都道府県DPATの養成を進めたいと思います。）

●何に役に立つの？

⇒研修参加者からは「被災病院になった時にどんな発信をすると良いのか参考になった。」
「災害医療についてイメージがわきにくかったが、今回の研修でイメージすることができた。」等の声があり、ご自分の所属する病院が被災した際にも役立つ知識（災害時の医療継続や病院避難等）を得ることができます。

●登録しても状況によっては出動できない場合は？

⇒出動は強制ではありません。病院ごとの状況に応じて依頼をします。また、毎年、登録更新時にも出動の可否を確認しています。もちろん、災害が起きた際にも出動の可否を確認しますのでご安心ください。

●興味はあるけど、病院としてチームで受講するのは難しい場合は？

⇒オブザーバーで個人の受講が可能です。まずは研修を受講していただき、基本的な知識を身につけていただければと思います。（登録はされません）



災害が頻発している今、発災時に自院における災害対応の中心的な役割を担う人材養成のためにも、是非受講ください。



災害時精神科医療対策

2 DPAT（災害派遣精神医療チーム）について

愛知DPAT訓練

南海トラフ地震の発生を想定し、DPAT調整本部を立ち上げた実働・図上訓練を実施しています。

<訓練概要>

○日 時：2024年11月14日（火）

○参加者：

DPAT統括者、DPAT先遣隊、県職員

○訓練内容：

発災後24時間後の本部活動等に係る訓練

- ・精神科病院の被災状況確認
- ・被災精神科病院への支援方法の検討 等

